

ホクギン

マンスリー
Monthly

平成26年2月15日発行(毎月1回・15日発行)

No.201

2014
February



[窓] フィンランドのサンタクロース フジコーポレーション株式会社 代表取締役社長 藤井 大介 氏

[社長に聞く!] 株式会社 小野組 代表取締役社長 小野 貴史 氏

[にいがた東奔西走 越後人物館めぐり] 山本五十六記念館

「フィンランドの サンタクロース」

サンタクロースの母国フィンランドで、サンタクロースと出会ったのは2005年の夏でした。その後、フジイ除雪機がサンタクロース村で使用され、サンタクロース公認除雪機として認定されました。

その年のクリスマスに招待を受け、サンタクロースの出陣式（12月23日夜に世界中にプレゼントを配りに行くキックオフセレモニー）に出演しました。出陣式ではサンタクロースと共に舞台上がり、「新潟のコシヒカリ」をプレゼントしました。その時、サンタクロースが一言：「生まれてはじめて、プレゼントをもらった！」その瞬間、私は世界で唯一サンタクロースにプレゼントした人間になったのです。

読者の皆さんは、本場のクリスマスはご馳走を食べるとお思いでしょうか、全く違います。フィンランドのクリスマスディナーは、ライスポリッジ（ジャポニカ種に似たお米を牛乳で煮込み、塩や砂糖で味付けをしたフィンランドの家庭料理）がメインです。昔フィンランドではお米が採れず、貴重品でした。それで家族揃ってライスポリッジを食べ、クリスマスを過ごすという習慣ができたそうです。

お米の本場・新潟から北極圏にあるサンタクロース村にクリスマスに行き、クリスマスディナーとして「お米のお粥」を食べるといふ貴重な経験をしました。牛乳で作るライスポリッジは、真っ白く綺麗なご馳走でした。新潟県の特産にすれば面白いと思いながら、ライスポリッジを食べたのを記憶しています。

最後に、フジイ除雪機はサンタクロースの公認を受けていますが、そのロイヤルティーは高いと皆さんは想像していませんか？実は、この公認料は「タダ」です。公認に関する契約の時、恐る恐るロイヤルティーの議題を出しましたら、以下のような言葉が返ってきました。「サンタクロースはプレゼントするのが仕事であるから、公認はプレゼントする。」と…。

会社は140歳、私は50歳近くでしたが、何歳になってもサンタクロースのプレゼントは嬉しかったです。



藤井 大介

フジイコーポレーション株式会社
代表取締役社長



12月25日街に出て、クリスマスギフト
(チョコレート)を配っているサンタクロース

ホクギン マンスリー

Monthly

No.201

発行所／株式会社 ホクギン経済研究所

〒940-0071

新潟県長岡市表町3丁目2番地1

TEL. 0258-39-7302 FAX. 0258-35-3129

URL／<http://www.heri.co.jp>

E-mail／heri@heri.co.jp